

第三次富士市都市計画マスタープランを策定しました

富士山とともに輝き 誰もが住みたい・住み続けたいと思える都市を目指して

都市計画マスタープランとは

おおむね20年後の将来を見据えた長期的な都市づくりの基本方針を定めたものです。都市計画決定の根拠や、都市づくりのガイドラインとして活用していきます。

策定に当たり、学識者や市民の代表などで構成する市民懇話会や、地域住民の皆さんと話し合いを重ね、幅広く意見を取り入れました。

構成は、①市全体の都市づくりの考え方である「全体構想」、②「まちなか」に特化した方針である「まちなかまちづくり構想」、③地域ごとのきめ細かな方針である「地域別構想」の3つの構想と、それらを推進するための方策である「都市づくりの推進に向けて」となっています。

今後は、本マスタープランをもとに、市民・事業者行政などによる「協働」「共創」の体制で、集約・連携型の都市づくりを推進していきます。



▲冊子（表紙）

都市の骨格形成の考え方

集約・連携型の都市づくり

～富士山の恵みを活かした魅力的な都市空間と安全で便利な移動環境～

都市景観	都市防災	都市環境	都市交通	土地利用	都市づくりの基本方針に 基づく関連施策・取組例
<ul style="list-style-type: none"> 富士山の眺望に配慮した建物や広告物の規制・誘導 工場夜景を活かした観光交流の促進など 	<ul style="list-style-type: none"> 水災害対策プランに基づき河川整備 事前復興の取組の推進など 	<ul style="list-style-type: none"> 公園施設の長寿命化と計画的な整備 空き家の発生予防や有効活用など 	<ul style="list-style-type: none"> 交通結節点での安全性・利便性の強化 将来を見据えた新たな公共交通サービスの導入など 	<ul style="list-style-type: none"> 居住ニーズの多様化に対応した住宅地の形成 新たな工業用地の確保など 	

〈将来都市構造図〉…将来の都市づくりの基本的な考え方を、都市の骨格の要素であるエリア・拠点・軸を用いてイメージ化したものです。

凡例			
主な拠点・軸	●	広域都市交流拠点	広域における交流を促進する拠点
	●	都市生活・交流拠点	にぎわいの中心地となる拠点
	□	まちなか	魅力ある都市空間が連続した一団の市街地
	●	地域生活拠点	日常生活の中心的な役割を担う拠点
	—	都市連携・交流軸	広域や隣接都市との連携・交流を促進する軸
	—	地域連携・交流基幹軸	「まちなか」と地域との連携・交流を促進する軸



問合せ／都市計画課（市役所6階）
 ☎(55)2786 ㊟(5)0475
 ✉toshikai@div.city.fuji.shizuoka.jp



▲詳しくはこちら

概要版やパンフレットは、5月以降に配布予定です。希望する人は直接、都市計画課へ。